

記念対談

— 鷺珠江氏 × 河井寛次郎に心を寄せる著名人 —



鷺珠江氏（河井寛次郎記念館学芸員、本展監修者）と
河井寛次郎に心を寄せる著名人をお迎えし、対談を行います。

本展
監修

鷺珠江氏 Tamae Sagi

（河井寛次郎記念館学芸員、本展監修者）

同志社大学文学部卒業。河井寛次郎記念館の学芸員として、
祖父・河井寛次郎に関わる展覧会の企画、出版、資料保存などに従事する。
共著・監修に『河井寛次郎の宇宙』（講談社）など。



写真<左より>
青瓷鱸血文桃注 1922年頃 河井寛次郎記念館
白地草花絵扁壺 1939年 河井寛次郎記念館
三色打薬扁壺 1961年頃 河井寛次郎記念館

対談 ①

ゲスト 鞍田 崇氏 Takashi Kurata

（哲学者、明治大学工学部准教授）

新しい切り口で民藝を論じ、著書『民藝のインティマシー—「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会）が話題に。2018年4月から5月まで、NHK Eテレで放送された『趣味どきっ!』火曜放送シリーズ「私の好きな民藝」に案内人として出演。

テーマ 河井寛次郎と民藝、そして丹波

日時 2018年10月13日（土）13時30分～15時

対談 ②

ゲスト 土井 善晴氏 Yoshiharu Doi

（料理研究家、おいしいもの研究所代表）

『きょうの料理』（NHK）、『おかずのクッキング』（テレビ朝日）をはじめとする、
数多くの番組に出演し、日本の家庭料理を中心とする新しい生活スタイルを提案。
著書に『一汁一菜でよいという提案』（グラフィック社）など。

テーマ 今、河井寛次郎から学ぶこと

日時 2018年11月3日（土・祝）13時30分～15時

記念対談 ―鷺珠江氏 × 河井寛次郎に心を寄せる著名人―

対談 ①

ゲスト／鞍田崇氏（哲学者、明治大学理工学部准教授）
 テーマ／河井寛次郎と民藝、そして丹波
 日時／10月13日（土）13時30分～15時（13時より開場）

対談 ②

ゲスト／土井善晴氏（料理研究家、おいしいもの研究所代表）
 テーマ／今、河井寛次郎から学ぶこと
 日時／11月3日（土・祝）13時30分～15時（13時より開場）

■定員：各回 110 名（先着順） ■会場：兵庫陶芸美術館 研修棟 1F セミナー室 ■参加費：無料 ※ただし本展観覧券（半券可）が必要

お申込みについて

各回事前申込制（先着 110 名）、ご参加には本展観覧券（半券可）が必要です。

受付開始：8月31日（金）午前10時より

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

申込方法：電話、FAX

※電話受付時間は10時から17時まで（月、月祝の翌火を除く）とさせていただきます。

※FAXは着信順にて受付いたします。チラシ下部の参加申込書に必要事項をご記入の上、お送りください。

申込先：兵庫陶芸美術館 TEL 079-597-3961、FAX 079-597-3967

ご注意：※受付開始日までのお申込みは受け付けいたしません。

※10名以上の団体でのお申込みはご遠慮ください。

※お申込後のキャンセルはご遠慮願います。

やむを得ずキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。

お問い合わせ先

兵庫陶芸美術館 〒669-2135 篠山市今田町上立杭4（月曜日休館）

TEL 079-597-3961 / FAX 079-597-3967 / HP <http://www.mcart.jp>

兵庫陶芸美術館へのアクセス

[自動車の場合] ※無料駐車場がございます。

- ・舞鶴若狭自動車道・三田西ICより約15分
または丹南篠山ICより約20分
- ・中国自動車道・滝野社ICより国道372号を東へ約30分
- ・阪神方面より国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分

[JR・バスの場合]

- ・JR福知山線「相野駅」下車（大阪駅から約50分）
駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」、
「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き約15分、
「兵庫陶芸美術館」下車
- ※「相野駅」からタクシーもご利用いただけます。



記念対談 参加申込書 参加希望のイベントにチェックの上、下記項目をご記入ください。（複数選択可）

①鞍田崇氏「河井寛次郎と民藝、そして丹波」10/13(土) ②土井善晴氏「今、河井寛次郎から学ぶこと」11/3(土・祝)

ふりがな 氏名	*必須	申込人数	*必須	名	住所	*必須	都道府県	市区町村
TEL	*必須（日中連絡がとれる番号）	FAX	*FAXでお申込みの方は必須		連絡事項			

【個人情報の取扱い】 本参加申込に係る個人情報は、お客様への「当館からの連絡・お知らせ」のみに活用し、これらの目的以外には使用しません。